



青き楓

島高だより
令和元年 7 月号
(通巻第 160 号)
長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

校長室から

青春時代こそ涙を流せ

校長 渡邊 孝経

青楓祭(体育祭・文化祭)の準備を始める時期となった。体育祭種目「これが島高だ」は1966年に放映された青春学園ドラマ「これが青春だ」をもじってネーミングされた種目であろうか。当時の先輩たちがみんなそのドラマを観ていたからこそそのネーミングで、50年以上も続いていることになる。(そう考えると、簡単には無くせない種目である)

我々の学生時代にはビデオも YouTube もなく、動画といえばテレビと映画だけだった。学校では前日のテレビ番組が話題になることも珍しくなく、1965～1970年代の青春学園ドラマ「青春とはなんだ」「これが青春だ」「飛び出せ青春」「われら青春」などは、主題歌をすらすら歌えるくらい観ていた。そして、その主題歌に影響されたこともあったし、その中の教師に憧れた者は多かったと思う。そういう私も、そのひとりである。

同年代で、報道番組等で歯切れのいいコメントをされている中央大学の野村修也教授も、青春学園ドラマ「われら青春」の主題歌「帰らざる日のために」の中の『涙は心の汗だ』というフレーズ(～涙は心の汗だ たっぷり流してみようよ 二度とは戻らない 今日のために～)が今も心の支えになっている、ということ番組の中で言っておられた。

私が「涙」という言葉が入った曲で、頭にうかぶのは、ゆずの「栄光の架橋」とファンキーモンキーベイビーズの「あとひとつ」である。「栄光の架橋」(～誰にも見せない涙があった 人知れず流した涙があった～)この曲はアテネオリンピックの応援歌であるが、島原高校剣道部が初めて全国優勝をした時に流行っていた曲で、感慨深い。

「あとひとつ」(～あと一粒の涙でひと言の勇気で願いがかなうその時が来るって～)この曲は東日本大震災の後、楽天イーグルスが田中将大投手の活躍等もあって日本一になった時に宮城県民が球場で合唱した曲であり、私が仙台で講演・講習会を行ったときのメンタルトレーニングのモチベーションアップDVDに使ったものでもある。そのDVDを見ていた宮城県の人が「この曲は我々にとっては特別です」としんみりおっしゃったので心に残っている。

このように曲の中で歌われた「涙」はその時々的情景を思い起こしてくれるものである。

「勝負の世界では悲し涙ではなく、悔し涙ならば流せ」と先月号で述べたが、青春といえば汗と涙を連想するのは我々世代だけではないだろう。青春時代の涙は、悔しさ、どうにもならない悲しみ、喜び、感動などその原因はさまざまであるが、人間の成長には欠かせないものであると思う。本校の教育活動全てにおいて「喜びと感動」を求めている。青春真っ只中の諸君には、やはり「喜びと感動」の涙を流してほしい。

松下幸之助氏の座右の銘は、「青春とは心の若さである。希望と信念にあふれた勇氣に満ちて、日に新たな活動を続ける限り、青春は永遠にその人のものである」であるそうだが、松下氏は一生涯が青春時代であり、こういう思いで過ごされ、偉大な経営者となられたのだと思う。

生徒はもちろん、大人も青春時代を懐かしむだけでなく、「今も青春」と思い込み頑張りたものだ。

心に響く「人生の達人セミナー」(教務部)

このセミナーは、努力を重ねたことで成功を収めた人や、実社会の第一線で活躍されている方で、長崎県にゆかりのある人を講師に招き話をしていただく講演会で、毎年実施されています。今年度は中国や東南アジアで長きにわたって活躍された横田龍次先生を講師に招き、「国際社会に生きる」という演題で講演をしていただきました。



◆講師 横田 龍次 氏

島原高校 23 回生。西南学院大学卒業後、安田火災海上保険株式会社(現損保ジャパン日本興亜)へ入社。北京事務所長、バンコク駐在員、国際部南アジア大洋州課長などを歴任。2006年に河村電器産業株式会社へ転籍し、中国事業推進室長、総務部参与として現在に至る。2004年から13年間上海長崎県人会長、NPO法人中国留学生交流支援立志会副理事長などを務めるなど、日中の交流に尽力されている。

◆講演の概要

講演の初めにクイズ形式で世界のことを紹介していただき、リラックスした雰囲気の中で講演が始まりました。前半は、島原高校での生活、海外に出ることで視野が広がり故郷の良さを再発見できること、海外にいても人のつながりが大切であることについて写真や体験談などを交えてお話していただきました。後半は、世界・アジア・中国を見る視点をテーマに世界情勢の変化についても紹介していただき、島高生にむけてのメッセージで「視点を変えてみる」や「今やるべきことにしっかり取り組む」「将来のなりたい自分をイメージする」「粘り強く継続する」など多くのアドバイスをいただきました。

◆生徒感想より

- ・海外で活躍するためには都会で生活している方が有利と思っていましたが、逆に田舎育ちの方が海外に向いていることや、島原にいても国際人になれることを知り、挑戦してみようという気持ちが生まれました。
- ・夢を実現するためには、その夢を常に心に抱いてそれに向かって努力を続けることが大切なのだと思えてきました。

主な部活動実績等

剣道部

令和元年度全九州高等学校体育大会

- 男子団体 第3位
- 女子団体 **優勝**
- 女子個人 **優勝** 岩本 瑚々

レスリング部

令和元年度全九州高等学校体育大会

- 学校対抗戦 第3位
- 男子 65 kg級 第3位 森崎悠太郎
- 女子 57 kg級 **第1位** 吉武まひろ
- 女子 74 kg級 第3位 古賀美颯野

陸上競技部

第72回全国高等学校陸上競技選手権大会 北九州地区予選

- 男子 100m **第1位** 池田 成諒
- 男子 200m **第1位** 池田 成諒
- 男子 4×100m 第4位

令和元年度長崎県高等学校陸上競技選手権大会

- 男子 100m **第1位** 池田 成諒
- 男子 200m **第1位** 池田 成諒
- 男子 4×100m 第2位

放送部

第66回NHK全国高校放送コンテスト長崎大会

- テレビドキュメント部門 **優秀賞**
- 創作ラジオドラマ部門 **優秀賞**
- 創作テレビドラマ部門 **優秀賞**

第74回国民体育大会強化指定選手

剣道部男子

- 齋藤 瑞貴 荒木 啓 金丸 大地

剣道部女子

- 森 万穂 山口菜々実 岩本 瑚々
- 峯松 加奈

レスリング

- 喜多 涼真 喜多 康介 落水 健太
- 森崎悠太郎 濱崎 湧太 吉武まひろ

陸上競技

- 池田 成諒

上位大会出場者紹介

■全国高等学校体育大会【感動は無限大 南部九州総体 2019】

◆陸上(8/4~8/8:沖縄市タピック県総ひやごんスタジアム)

100m、200m 池田 成諒
4×100m 菅野 陽太 森川 麗功 白石光太郎
汾陽 大雅 馬場 隆旗 大場 瑞希

◆弓道男子(8/7~8/10:都城市早水公園体育文化センター)

団体戦 平 遼太郎 辰田 亮太 早田 廉
菅藤 舜平 山崎 康成 中島 康雄

◆ソフトテニス男子(7/25~7/28:宮崎市生目の杜運動公園)

団体戦 高田稜太郎 島田 陸 浦田 大樹
田浦 真人 前田 泰輝 藤田 直克
前田 太陽 小田 祥大

◆レスリング(7/29~8/1:玉名市総合体育館)

男子 団体および個人(※は個人戦も出場する生徒)

51 kg級 喜多瞭太郎※ 55 kg級 落水 健太
60 kg級 内野 浩聖※ 65 kg級 森崎悠太郎※
71 kg級 濱崎 湧太※ 80 kg級 喜多 涼真※
125 kg級 喜多 康介※ 51 kg級 地田 優太
(個人は92 kg級) 55 kg級 内田 真文
71 kg級 菅 仁亮 125 kg級 稲本 喬弘※

女子 個人

57kg級 吉武まひろ 74 kg級 古賀美颯野

◆剣道(8/3~8/6:熊本県立総合体育館)

男子 個人 齋藤 瑞貴

女子 団体および個人(※は個人戦も出場する生徒)

森 万穂 山口菜々実 渡部 真衣 岩本 瑚々 峯松 加奈※
林 穂乃花 生出 琴華

■第66回NHK杯全国高校放送コンテスト

◆放送部(7/22~:東京都渋谷区 国立オリンピック記念青少年総合センター)

濱口 琉 島崎 希生 林田 希 小川 真由



PTA 激励の光景



同窓会とPTAより激励金

第70期 生徒会常任委員の紹介 (生徒会指導部)

7月1日(月)に常任委員の交代式が行われました。今後、学校行事や生徒会活動の中心となって活躍してくれる第70期常任委員のみなさん、よろしくお願いします。第69期常任委員のみなさん、さまざまな場面での活躍、お疲れ様でした。本当にありがとうございました。

新・生徒会常任委員

常任委員長	原口宗一郎		
常任委員			
永石 陽大	松尾 優里	河野 陽紀	
清水 咲花	松本 悠里	島崎 希生	
前田 琉汰	横田 幸菜	渡邊 海希	
宮田 悠輝	吉田 晴香	山本 若奈	
小佐々真奈花	末吉 紘志	野島 凱	
吉本 あこ	宮崎 海斗	前田 嵐	
鈴木かなな	佐藤 優花	中尾 心春	
立光 晴菜	高田 結	松島 凜佳	
林 怜奈	森 海琴	江越 柚風	
山口 心優	貴田 迅海	大町 彩音	
小島 浩登	中村 大海	川端 ひかり	
松本 一輝	前田 拓摩	立光 未蘭	
森崎 匠	池田 莉望	川口 隆成	
梶原 涼香	泉 麻鈴	飛永 愛優	
鐘ヶ江 葵	吉田 由美		



前委員長の元村さんから新委員長原口くんへ校旗の引継ぎ

■第70期生徒会常任委員長より

今年度の生徒会常任委員は45名という昨年度のおよそ2倍の人数で活動していきます。

来年度の120周年に向けて、45名の委員の力を最大限に活かし、島原高校をこれまで以上に盛り上げていきたいと思っております。1年間よろしくお願いします。

長崎大学オープンキャンパス

(第2学年)

7月20日(土)、2年生全員で長崎大学のオープンキャンパスに参加しました。心配された台風は幸いにも九州から逸れたものの、時折強い風雨に見舞われながらのオープンキャンパスとなりました。実際の大学の教室や講義室で、模擬授業を受けたり、体験活動をして大学生気分を味わいました。また、入試制度についての説明を受けたり、長大生が学生生活や研究内容について話をしてくれて、大学というものについて理解を深めました。

2年生は大学進学へ向けて熱い気持ちが湧いてきたことと思います。この夏しっかりと学習に励み、学力をつけてくれることを期待します!



医学部保健学科での講義と実習

8月の主な行事予定

- (* 3年学習合宿 7/28~8/3 南風楼)
- (* 1・2年夏季補習 7/27~8/3)
- 5日(月)・6日(火)全統マーク模試(3年)
- 7日(水) 3年夏季補習(~8/8)
- 8日(水) 理数科2年崇城大学研修
- 9日(金) 平和登校日
(全学年 9:30~SHR)
- 13日(火)~15日(木)学校閉館
- 16日(金) 理数科2年長崎県立大学研修
- 17日(土) 夏季補習(3年)
- 18日(日) 大学別オープン模試(3年)
- 19日(月) 2学期開始式
校内実力テスト(1・2年)
授業(3年)
- 20日(火) 早朝補習開始(全学年)
- 24日(土) 校内学習会(3年)
- 28日(水) 青楓祭〔体育祭〕予行